# 

开後8時基で投票で考ます 川崎市選挙管理委員会

医療と介護の最適化

区役所の地域見守り支援センターは、

ンストップサービスへ改善します。

|川崎の「働く」を応援

ものづくり投資推進条例を制定。中

小企業の税を優遇し、商工業の集積

で市民の雇用を促進します。

「たらい回し」状態。市民が安心できるワ

# **B** ムダづかいは許しません!

市の財政は借金に借金を重ねています。 このままでは市民の負担は増すばかり。

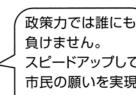
- バラマキ財政を見直し
- 市政の家計簿総チェック
- 全事業の棚卸し ■ 第三者の専門家によるチェック機関の設置
- 利権の一掃 - ハコモノ行政からの脱却

# 災害死ゼロをめざして

まちづくり条例・災害死ゼロ条例で、 防災対策に万全を期します。

# 150万市民の命を守ります。 「かわさきっ子」を育てます

子どもの居場所づくりと、確かな ● 学力を育む環境を整備します。 児童生徒をいじめから守ります。



スピードアップして 市民の願いを実現 します!

子 川崎市版 子育てモデルを

保育料格差があります。

自宅で子育て中のママを支援

小規模保育園や認定保育園の充実

待機児童は本当に「O」? 保育士不足は

かなり危機的。幼稚園児と保育園児との

幼児教育の無償化、子育てサロンを整備し

制定をします

ケアをサポート。

目まぐるしく変化する女性のライフ

サイクルにあわせ、こころと身体の

交通利便性の向上へ

コミュニティバスの導入、ホームド

アの設置、南武線の長編成化、横



市議

会議員

4

建

# 4年間の主な実績



- 「川崎モデル」で要介護度の維持・改善に成果
- 小児医療費の無料化を小1から小6まで拡充
- 「待機児童の解消を実現 \*H27年-H29年 146ヶ所の保育所を新設
- ✓ 「地域の寺子屋」が31か所で開講。全校展開へ

# 次に力を入れる50の政策集

危機管理体制・備蓄計画など 防災力の強化

小児医療費助成制度 入院費助成の所得制限を廃止

新たに7,000人以上の 認可保育園を整備

学校のトイレの洋式化へ スピードアップ

特別養護老人ホームの整備と

マッチング強化

# 川崎市長 福田紀彦プロフィール

1972年4月20日生まれ。45歳。川崎市立長沢小学校・中学 校卒業後、渡米。米国アトランタ・マッキントッシュ高校卒業。 米国ファーマン大学卒業(政治学専攻)。衆議院議員秘書 を務めた後、2003年神奈川県議会最年少で初当選。 2007年、2期目当選。

2009年 川崎市長選挙に挑戦するも惜敗。早稲田大学マニ フェスト研究所・客員研究員、県知事秘書などを経て、2013 年10月 川崎市長選挙で初当選。第12代川崎市長に就任。 ○趣味:料理、キャンプ、ボーイスカウト活動

○家族:妻、長女、長男、次男の5人家族。宮前区在住。

あらゆる差別の根絶を目指す 条例を提案

等々力をスポーツの聖地に 第二期整備推進

緑・公園・多摩川の価値を 最大限に活かす取組

[1% FOR ART]

区ごとに応じた新しいタイプの コミュニティ交通へ

一定額を文化・芸術振興へ

その他の政策や4年間の 実績の詳細は政策ビラまたは

ホームページをご覧ください!

福田紀彦 | 検索 □ \$ \ fukuda-norihiko.com





# 閉路ゆたかな財政に 子育て・教育・福祉充実の川崎へ

# 1年目に実行する



- 認可保育園 25ヵ所3000人分增設 (特別)
- 3. 小学校3年生で35人以下学級を実現
- 特養ホーム 10カ所1200人分 増設 **5. 住宅リフォーム助成**を創設

保育・教育・特養などで 3000人の雇用創出

まもろ

# ゆたかな財政で実現できます

●市の「ためこみ貯金」(減債基金) は 2209 億日 2017 年度末 これをさらに今後10年間で900億円も積み増しする計画をやめるだ

●財政力指数は毎年 20政令市中トップ

●不要不急の大規模開発やめ、くらし優先の予算に

補助10万円 ●給食費の無償化推進 ●介護保険 **料の引き下げ ●障がい者グループホーム増設** ●市内企業の非正規雇用の正社員化促進
●中小 企業予算の大幅増額 ●ヘイトスピーチ・デモを許

さない ●性的マイノリティ・LGBT支援宣言

頭記長四臨海部で市民生活に必要ない橋を次つぎ建設… 大規模開発



# 中学校元教諭

けで、毎年90億円の新たな財源をつくれます。

●幼稚園保育料補助を月1万円以上増額、入園料